

『半島論』(響文社)刊行イベント Vol.5

# サハリン島の先住者たち

金子遊(批評家・映像作家)×井上紘一(北海道大学名誉教授)

2019年3月2日(土)15時～

書肆吉成・丸ヨ池内 GATE6F 店内ギャラリー

〒060-0061 札幌市中央区南1条西2丁目 IKEUCHI GATE 6F

札幌の出版社である響文社から刊行された『半島論』のトークイベントが好評を博しています。列島各地の半島における文学やアート、民俗や歴史を論じた同書について、これまで東京、横浜、京都、熊本で執筆者たちによるトークが開催されてきました。

第5弾となる札幌会場では、編者の金子遊が、樺太アイヌの言葉を採集した金田一京助と津軽半島のミッシングリンクを、ユーカラのなかに探りだします。トークのお相手には、シベリアや樺太島で先住民文化とピウスツキの研究をしてきた、北海道大学名誉教授の文化人類学者・井上紘一さんをお迎えします。

## 金子遊 (1974年、埼玉生まれ)

批評家、映像作家。慶應義塾大学非常勤講師。『半島論 文学とアートによる叛乱の地勢学』(2018年、響文社)の編者。

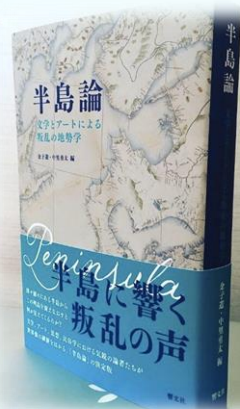
『映像の境域』(2017年、森話社)でサントリー学芸賞<芸術・文学部門>受賞。他の著書に『辺境のフォークロア』(2015年、河出書房新社)、『混血列島論』(2018年、フィルムアート社)、『悦楽のクリティシズム』(2019年、論創社)など。

## 井上紘一 (1940年、東京生まれ)

北海道大学名誉教授。北方ユーラシア専攻の文化人類学者、シベリア・中国東北部・樺太島などでフィールドワークに従事。半世紀以上にわたってプロニスワフ・ピウスツキの研究を推進する。

主要著作：K. Sawada & K. Inoue (eds.), *A Critical Biography of Bronisław Piłsudski*, Vols. 1-2 (Saitama, 2010)、

『プロニスワフ・ピウスツキのサハリン民族誌～二十世紀初め前後のエンチウ、ニヴフ、ウイльта』(東北アジア研究センター叢書第63号、仙台、2018)など。



半島論  
文学とアートによる叛乱の地勢学

編集：金子遊 中里勇太  
価格：¥2,200+税  
発売：2018/9/15  
発行：響文社  
ISBN: 978-4877991432

席料：500円(税込)

問合せ電話：011-200-0098

<ご予約>

- ①お名前
- ②ご連絡先  
(メールアドレスまたはお電話番号)
- ③参加人数 を明記のうえ、  
yosinariikeuchi@gmail.com まで